

## 平成30年度事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

### 1 公益目的事業について (演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇の製作公演等による人材育成に関する事業  
定款第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行う。

#### (1) 演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

平成30年度は、札幌座という財団付属の創造集団をもとに、新作2作品、再演1作品(札幌演劇シーズン2018夏参加)を実施予定している他、日本劇団協議会「日本の演劇人を育てるプロジェクト」委託事業として新作1作品を実施。当財団と札幌市芸術文化財団の共催という形で平成30年9月にオープンする札幌市民交流プラザ・クリエイティブスタジオの柿落とし公演という大きな事業も実施。また在ハバロフスク日本総領事館からの招きで、青年交流公演も行い、道内の多劇団では製作することが困難な、作品創造に重点を置き、演劇の製作および公演を行う。青森県立美術館と当財団の共催では道内の演出家を青森県に派遣・1作品を創造し、他地域との交流もすすめ、研修生を積極的に募集し、演劇製作を通じた人材育成に取り組む。

##### ①【新作】札幌座 pit 「白鳥の歌」

原作：アントン・チェーホフ

脚色・演出：斎藤歩

出演：磯貝圭子、林千賀子

公演日：4月19日～22日(5回)

会場：シアターZOO(札幌)

##### ②【新作】札幌座第55回公演「コケモモの実る丘」(仮題)

作：山田百次(ホエイ・劇団野の上)

演出：斎藤歩

出演：熊木志保、山田百次、西田薫、竹原圭一(REDKING CLARB)、

アリョーナ

公演日：6月28日～7月4日(10回)

会場：シアターZOO(札幌)

※北海道命名150年記念事業に参加

##### ③【新作】青森県立美術館演劇部公演「(仮)津軽の男」

作・演出：斎藤歩(原作：太宰治)

出演：青森県立美術館演劇部

公演日：7月20日、21日

会場：青森県立美術館シアター

##### ④【再演】札幌座「象じゃないのに…」清田公演

作：イ・ミギョン 翻訳：木村典子

脚色・演出・音楽：斎藤歩

出演：斎藤歩、原子千穂子、山野久治(風の色)、前田透(木製ボーイジャー14号)

川崎勇人(劇団東京乾電池)

公演日：7月29日(1回)

会場：札幌市清田区民センター(札幌)

- ⑤【再演】札幌座「象じゃないのに…。」札幌演劇シーズン 2018 夏参加  
 作：イ・ミギョン 翻訳：木村典子  
 脚色・演出・音楽：斎藤歩  
 出演：斎藤歩、原子千穂子、山野久治（風の色）、前田透（木製ボーイジャー14号）  
 川崎勇人（劇団東京乾電池）  
 公演日：8月4日～12日（12回）  
 会場：シアターZOO（札幌）  
 ※韓国・劇団青羽「そうじゃないのに」も同時上演（2回）
- ⑥【再演・海外交流】「raprap～スピノフ」ハバロフスク公演&青年交流ワークショップ  
 2017年夏に札幌国際芸術祭に参加した、アイヌヴォーカルと韓国人ダンサー、そして北海道在住のダンサーによるコラボレーションパフォーマンスを、斎藤歩が再構成し、在ハバロフスク総領事館の招きで、青年交流ワークショップと公演を行う。  
 期間：11月6日～11日（調整中）
- ⑦【新作】札幌文化芸術劇場クリエティブスタジオオープニング特別公演  
 「ゴドーを待ちながら」  
 原作：サミュエル・ベケット 翻訳：安藤信也・高橋康也  
 演出：斎藤歩  
 出演：斎藤歩、納谷真大（イレブンナイン）、福士恵二、高田恵篤（万有引力）  
 公演日：12月17日～25日（10回）  
 会場：札幌文化芸術劇場クリエティブスタジオ
- ⑧【委託】日本劇団協議会日本の演劇人を育てるプロジェクト「二人で狂う…好きなだけ」  
 作：ウジェーヌ・イヨネスコ  
 演出：小佐部明広  
 出演：斎藤歩、小島達子（イレブンナイン）、横尾實、高子未来、すがの公、  
 公演日：1月19日～24日（7回）  
 会場：シアターZOO（札幌）  
 ※日本劇団協議会「日本の演劇人を育てるプロジェクト」の協力公演として、これまで俳優を対象に新人育成をおこなってきたが、今年度は演出家育成を目的にベテラン俳優とスタッフを配置し公演を実施する。
- ⑨ 札幌座研修事業  
 新たな人材育成を目的とした研修生システム（公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ）による俳優養成を行う（通年）。  
 講師：斎藤歩、清水友陽、すがの公、弦巻啓太、櫻井幸絵、磯貝圭子ほか

## (2) 演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部・演劇活動者、乳幼児と子育て世代、また、コミュニティ形成・活性化への演劇の活用など、幅広い年齢層・地域を対象に、演出家と実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行う。

### ① 演劇ワークショップ事業

演劇部および演劇活動者を対象に、スキルアップのための各種ワークショップを行う。

実施校：厚別高等学校（演劇部）、札幌市中学校文化連盟演劇専門委員会ほか、市内・道内で数校の実施を検討中

講師：斎藤歩、磯貝圭子、小佐部明広、畑澤聖悟ほか

### ② 演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

小中学生など演劇初心者を対象に、演劇を活用したコミュニケーション教育および地域コミュニティ形成などの各種ワークショップを行う。

実施校：幌西小学校、苗穂小学校、立命館慶祥中学校（江別市）、とうや小学校（洞爺湖町）、洞爺中学校（洞爺湖町）、北星女子中学高等学校スタートアップ研修、ほか  
※教育現場以外にも紋別市社会福祉協議会などに取り組む予定

講師：清水友陽、弦巻啓太、磯貝圭子、西田薫、納谷真大（イレブンナイン）、イトウワカナ（intro）ほか

### ③ 地域で輝く子どもと子育て世代、そして高齢者のための

コミュニケーションワークショップ事業

次代を担う子どもたちと子育て世代、それらを見守り支えながら地域を元気にする高齢者などを対象に、演劇の表現手法を活用したコミュニケーションワークショップを行うとともに、乳幼児と子育て世代のためのワークショップに積極的に取り組む。

実施地域：札幌市、石狩市、恵み野、当別町、北広島ほかを予定

講師：斎藤歩、櫻井幸絵、西田薫、廣田直美、櫻井ヒロほか

本事業のうち、(1)の②⑦は「文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）」（日本芸術文化振興会）、③は青森県立美術館、④は清田演劇のつどい実行委員会との共催、⑥は北海道文化財団からの補助、⑧は「日本の演劇人を育てるプロジェクト（新進演劇人育成公演・演出部門）」（主催：日本劇団協議会、文化庁）の事業として実施予定。

また、(2)の①の一部と②は実施校から「文化芸術による子供の育成事業」（文化庁）、「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」（文部科学省）等に申請予定。③はを「地域づくり総合交付金」（北海道石狩振興局）に申請予定。

2. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業  
 定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 扇谷記念スタジオ・シアターZOOの運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間の提供により、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理する。具体的運営は、平成29年度より「芸術監督制」として行っている。

芸術監督：斎藤歩

扇谷記念スタジオ・シアターZOOを、より地域に深く根差す「地域密着型劇場」、そこを拠点として人材が集まり作品創造に取り組む「創造型劇場」、この2つを柱に以下の事業を行う。

① シアターZOO「企画公演」「提携公演」事業

上記2つの柱に沿った長期的展望に立った事業として「企画」「提携」の各公演を実施する。

[企画公演]

札幌の20～30代の劇作家3人を選抜し、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行うとともに、これまで取り組んできた「劇のたまご」を発達障がいをもつ子どもたちのサービス「ペン具アート」に舞台美術を依頼するなど新たなシリーズとして継続して上演。また英語字幕をつけ母語の異なる子どもたちが観劇を通じて交流を図れるようにし、新たな観客層の開発にも取り組む。このほか、韓国から劇団青羽「そうじゃないのに」を招へいし、札幌座「象じゃないのに…」と同時上演する。

4月	企画公演①劇のたまご「ぐりぐりグリム第二章」(演出：斎藤歩)
8月	企画公演②国際交流企画：劇団青羽「そうじゃないのに」
11月	企画公演③劇のたまご「ぐりぐりグリム第三章」(演出：清水友陽) 企画公演④レッドキングクラブ「ガラスの動物園」(演出：竹原圭一) 企画公演⑤プロト・パスポア「春のめざめ」(演出：小佐部明広)
12月	企画公演⑥劇団・木製ボーイジャー14号 「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」(演出：前田透)

[提携公演]

札幌座のディレクターが代表を務める劇団(弦巻楽団)、道内出身で東京に活動拠点を置くアーティスト(道産子男闘呼倶楽部、MAM)を中心に、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、北海道における演劇の創造と向上を目指す。

5月	提携公演①intro(札幌)
6月	提携公演②弦巻楽団(札幌) 提携公演③iaku(大阪)
7月	提携公演④座・れら(札幌)
9月	提携公演⑤道産子男闘呼倶楽部(東京)
10月	提携公演⑥金澤碧・西田薫(東京・札幌)
12月	提携公演⑦劇団こふく劇場(宮城) 提携公演⑧下鴨車窓(京都) 提携公演⑨弦巻楽団

② シアターZOO「育成・普及啓発」事業

シアターZOOを「創造型劇場」「地域密着型劇場」として運営するため、下記の育成ならびに普及啓発事業を実施する。

人材育成事業

[シアターZOOラボ2018](5月～11月：3回：シアターZOO)

[劇作家を育てるリーディング事業](9月～10月：3回：シアターZOO)

[演劇人を育てるスキルアップレッスン] (4月～1月：10回：スタジオ1)  
[酪農学園大学学生劇団<宴夢>への創作スキルアップ講座]  
[地域のワークショップリーダー育成講座]  
[こぐま座パペットユーススクールへの講師派遣]

#### 普及啓発事業

[発達障がいのある子どもたちのためのバックステージツアーとワークショップ]  
[中学演劇部のための創作ワークショップ]  
[高校生のための演劇で世界を考えるワークショップ]  
[高校演劇部のための創作ワークショップ]

#### ③ シアターZOO 寄席

定期的な寄席を開催し、演劇とは異なった形で地域住民とのコミュニケーションを図る。  
時期：5月、7月、10月、1月（4回予定）

#### ④ 札幌劇場祭参加公演

参加団体：レッドキングクラブ、プロト・パスプア、劇のたまごを予定  
時期：11月1日～12月2日（予定）

#### (2) サンピアザ劇場企画公演プレミアムステージの企画運営

札幌副都心開発公社と協力し、プレミアムステージの企画運営を行う。

本事業のうち、(1)の①②を「文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）」  
（文化庁）に申請中。

### 3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

#### (1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指す。

#### (2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人々のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、事業の運営および管理を行いし、1作品を1カ所で1公演を行う。

##### ① MTP「白石加代子 百物語」

演出：鴨下信一 出演：白石加代子

公演地：札幌市、水戸市（茨城県）、西宮市（兵庫県）、新潟市（新潟県）

時期：7月 <4カ所4公演>

#### 4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

##### (1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOOサロン」を年8～10回開催、年間400名の参加者を見込む。

また、ボランティア組織（清田演劇のつどい実行委員会、江別札幌座くらぶ、などと協力して札幌市内および近郊で演劇公演を行うほか、演劇創造都市札幌プロジェクト、らてるね賞実行委員会の事務局を請け負い、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援する。

##### (2) 広報紙の発行

北海道演劇財団21年目の新たな体制、新たな事業の展開を踏まえ、広報紙の充実を図るために内容を刷新し、より広報活動に使用できるものとする。

発行回数：年2回

発行時期：4月、10月

発行枚数：各700部

## 2 収益事業について

### 1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

#### (1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOを主に道内の劇団や文化団体に、スタジオ1・スタジオ2を特定非営利活動法人札幌座くらぶにそれぞれ貸与する。

### 2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

#### (1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託する。

受託団体：特定非営利活動法人札幌座くらぶ